

NS 物流研究会 物流関連ゼミ学生による研究発表会
「テーマと概要」

1.大阪産業大学 浜崎ゼミ

【テーマ】 ネット通販の宅配を担うデリバリープロバイダの品質とサービスに関する調査

【発表内容】 大手宅配便会社の総量規制や値上げなどにより、アマゾンなどの大手 EC 企業は、大手宅配便会社から地域の中堅物流会社などのデリバリープロバイダに移行している。従来の大手宅配便会社と比較し、配達品質やサービスなどにどのような影響が出ているのか、アンケートやインタビューを通じて明らかにする

2. 日本大学 秋川ゼミ

【テーマ】 荷物と情報を運ぶトラック ～トラック広告の広告効果の検証～

【概要】 私たちは輸送用トラックの荷台側面の空きスペースを広告媒体として有効利用する「トラック広告」を提案し作成、広告効果検証を行った。トラックは全国を走る長距離のトラックではなく、街中で見かける狭い地域を走るトラックを用い、走行する地域に関する広告宣伝を行う。これにより、地域に特化した宣伝が行え、広告主のニーズも見込めると考えた。

トラック広告にかかる費用は広告作成費など広告関連のものに限られるため比較的安価に作成することが出来る。トラック広告は地域を限定した広告を行いたいと考える広告主に適した媒体であると考えられる。

トラック広告を実現させるにあたり、屋外広告物条例や運送会社特有の課題を踏まえ広告主と運送会社にアプローチし、トラック広告を作成した。トラック広告は実際の輸送にも使われ、トラック広告が走行した地域の住民を対象にウェブアンケートを実施し、視認率や費用対効果の算出などのトラック広告の効果検証を行った。

3.朝日大学 土井ゼミ

【テーマ】 女性活躍社会における物流サービスのあり方

【概要】 少子高齢化に伴い生産年齢人口が減少しているため若年層の人材が必要となっている。共働きが増える中、日本の潜在力である専業主婦などの女性の社会進出がより求められる。現在トラック運送業界では、深刻化する運転者不足の解消に向け、「トラガール」の愛称で明るい雰囲気前面に押し出して女性ドライバーを取り込もうという動きがみられている。

本研究では、女性活躍社会に資する物流サービスの基礎的な検討を行うため、女性の活躍推進企業データベース（厚生労働省）の物流事業者の公表データを用い、今後の方向性を明らかにする。

4.流通経済大学 小野ゼミ

【テーマ】 ラストワンマイル物流、特に、再配達問題を中心に

【概要】 研究発表する内容は、「ラストワンマイル物流、特に、再配達問題を中心に」を取り上げます。最近の労働力不足の中、よく取り上げられる問題です。具体的には、ラストワンマイル物流について、その定義を示すとともに、現状の実態と問題点を明らかにします。環境面の問題、コスト面の問題はもちろんですが、特に、最近の労働力不足の視点から分析したいと考えています。そして、再配達を削減するための方策を宅配BOXの整備やITの活用など多様な観点から検討します。

5. 東京都市大学 郭ゼミ

【テーマ】フォークリフトの動線分析から見る倉庫荷役作業の効率化

【概要】物流効率化の中、倉庫内の作業は大きな比重を示している。また、倉庫作業の中、運搬は必要な物を、必要な量だけ、必要な時刻に、必要な場所へ敏速かつ安全に移動することである。本研究は物流センターにおける荷役作業に使われるフォークリフトの動作に着目し、動線と作業分析といった IE 的なアプローチを用いてフォークリフトの作業効率を分析して、作業効率を改善するアイデアを考える。

6. 同志社大学 石田ゼミ

【テーマ】ネット通販ラストワンマイルに関する日中間の比較検討

【概要】ネット通販を支える宅配のラストワンマイルに関する問題が最近取り沙汰されている。日本をはじめ中国、韓国のネット通販と宅配の仕組みと問題点、および問題の背景について、それぞれ実証的に分析する。そしてそれらを比較検討しながら、各国のラストワンマイルの問題点に対する解決策を提案していきたい。

7. 亜細亜大学 白ゼミ

【テーマ】「物流産業革命 4.0」

【概要】物流産業は、郵便局の小包を利用するしかなかった時代から宅配便の登場と普及にわたる「物流産業革命 1.0」、冷蔵の宅配サービスなどが登場して多様化とともにコンビニエンスストアの発展に伴う小分け多頻度配送が進む「物流産業革命 2.0」、そしてインターネット通販の拡大による大量配送が求められることによって物流センター拠点の進化が進む「物流産業革命 3.0」を経て、現在高品質高付加価値物流サービスを認識させ、定着させていかなければならない「物流産業革命 4.0」が緊急の課題となっている。

本研究では、今後「物流産業革命 4.0」の主役となるマーケティングマネジメントの課題・責任・実践について考察、高品質高付加価値物流サービスへのシフトアップが緊急の課題とされる物流産業における IoT、AI、自動運転などのオートメーション化の導入とマーケティングマネジメントの変化と影響について研究していきたい。

8. 城西大学 上村ゼミ

【テーマ】「東武越生線の貨客混載による有効活用の可能性を探る」

【概要】トラックドライバー不足に加え、過疎地域の輸送需要減少への解決策として、貨客混載が注目されている。しかし、鉄道の活用となると、2011 年の京福電鉄とヤマト運輸の事例以降、本年度開始された北越急行と佐川急便の取り組み程度しか普及していない。そこで本研究では、城西大学周辺の鉄道の空きスペースを有効活用する方策について検討を試みる。

9. 神奈川大学 齊藤ゼミ

【テーマ】「宅配便市場参入の可能性—B2B 市場に参入せよ—」

【概要】現在、EC 市場の拡大を背景に B2C における宅配便の取扱貨物個数が急激に増加し、従来これらの貨物を取り扱っていた大手宅配便事業者が増加する貨物をさばけない状況に陥っている。さらに再配達率が 2~3 割となっており、貨物を取り扱っても採算性が悪く「豊作貧乏」が深刻化しているのが現状である。そこで、近年では余剰貨物を取り扱うため中堅物流事業者を筆頭に市場参入が相次いでいる。

しかし、大手と配送における質の違いや再配達における人員不足が露呈し、ビジネスとして厳しい状況にあるのが現状である。

そこで、我々は EC 市場の中でも特に B2B の宅配便事業に着目し、中堅物流事業者の本市場参入の可能性について提案を行いたいと考える。B2B 宅配市場は B2C 宅配市場と比較

して市場規模が大きくさらに再配送率が非常に低いなど収益性が高いのが魅力だ。

そこで、本研究を行う中で中堅企業が参入するうえでの障壁を明らかにし、理想的な参入モデルを構築したい。

10. 東京海洋大学 黒川ゼミ ※ゼミ内選考により,以下より 1 チームの出場がチーム決定

【テーマ】 災害に強いまちづくり ～ローリングストックによる備蓄改革～

【概要】 現在、政府や地方自治体によって、生活に必要な医療・福祉・商業等の諸機能が近接した効率的な都市を目指したコンパクトシティを推進する取り組みが行なわれている。しかし、この施策の中では物流や災害対策の観点からの議論が十分になされておらず、巨大地震などの災害が発生した際に、今までと同様に救援物資の輸配送などで問題が発生する事が予想される。

そこで、我々は物流の面から災害に強い救援物資の備蓄や輸配送について検討した成果を報告する。特に、ローリングストックと呼ばれる備蓄方法に着目し、これを取り入れた新たなまちづくりについて検討した結果を報告する。

11 目白大学 加藤ゼミ

【テーマ】 物流業界の救世主（ドローン）の可能性

【概要】 現在、物流業界ではネット通販の利用率が高まることで宅配荷物個数が増加し、物流業界が機能不全に陥っているとの声もあり、同業界における人手不足や過酷な労働形態が問題視されるようになってきている。我々は、そうした問題を解決するためのいくつかの方法を見たいうえで、最近話題となっているドローンが、本当に実現可能なのか調べてみた。はたして、ドローンによって物流業界は救われるのだろうか。

以上